

ニグループ PG-M

製品紹介

ニグループ PG-Mは、合成炭化水素油を基油、リチウム石けんを増ちょう剤とし、酸化防止剤・メラミン樹脂・ポリマーを有効に配合したプラスチック用グリースです。

耐樹脂性・耐寒性・潤滑性に優れ、一般鉱油系グリースの使用が困難な極低温領域での潤滑や、ゴム・プラスチックと金属間の潤滑に最適です。

また、ポリマーを添加しているため、粘ちょう性が高く、潤滑部の消音効果も有するグリースです。

特長

1. 耐樹脂性・耐ゴム性に優れています。
特にNBRゴム・CRゴム、及びABS樹脂・PC樹脂・PS樹脂などに対し悪影響を及ぼしません。
2. 広い温度範囲で使用可能です。
-40°C～+130°C
3. 剪断安定性に優れています。
4. 潤滑性に優れています。

用途

- プラスチック歯車の潤滑および摩耗防止
- プラスチックと金属間の潤滑
- 低温領域での軸受潤滑
- その他、ゴムやプラスチックを侵す恐れのある部分の潤滑

代表性状

試験項目	代表性状	試験方法
外 観	乳白色	目視
混和ちょう度 (25°C)	300	JIS K 2220 7
滴 点 °C	206	JIS K 2220 8
蒸 発 量 (99°C 22h) mass%	0.10	JIS K 2220 10
離 油 度 (100°C 24h) mass%	2.4	JIS K 2220 11

000906/0001MS

- 本商品の取扱については、容器に記入の取扱注意事項を熟読の上、ご利用下さい。
- 掲載の性状・性能等は正確さや完全さを保証するものではありません。予告無く変更される事があります。

CATL-J-406750-20090630

製品安全データシート

(Material safety data sheet)

1. 製品及び会社情報

製品名	ニグループ PG-M		
会社名	日本グリース株式会社		
所在地	大阪府中央区南船場 4-11-28		
担当部門	営業部	電話番号 06-6282-5412	FAX番号 06-6282-5418
緊急連絡先	技術研究所	電話番号 078-731-8147	
整理番号	G2760		
制定日	2004/11/29		
改訂日	2013/03/05		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	分類できない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

呼吸器感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分2
授乳に対する影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に関する有害性

水生環境有害性(慢性)	分類できない
-------------	--------

※記載のない項目は「区分外」または「分類対象外」

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれの疑い（他の経路からの暴露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害な暴露経路を記載）
 臓器の障害（もし判れば影響を受ける全ての臓器を記載する）（他の経路からの暴露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害な暴露経路を記載）
 長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ（もし判れば影響を受ける全ての臓器を記載する）（他の経路からの暴露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害な暴露経路を記載）

注意書き

<予 防 策>

全ての安全注意（MSDS等）を読み、理解するまで取り扱わないこと。
 熱、火花、高温体等の着火源から遠ざけること。
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、火花の出ない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。容器を接地させたりアースをとること。
 この製品を使用する時に飲食や喫煙をしないこと。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、ミストや蒸気の吸入を避けること。又、飲み込まないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

- <応急措置>** 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。又、無理して吐かせないこと。
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚（又は髪）にかかった場合、直ちに汚染された衣類を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼で洗うこと。
 目に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
 目の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
 暴露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
<保管> 医師の診断が必要な場合、製品容器又はラベルを手元に用意すること。
 施錠して保管すること。
 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
<廃棄> 子供の手の届かない場所に保管すること。
 内容物及びその容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学名又は一般名	グリース	
成分および含有量	基油	約75%
	増ちょう剤	Li石けん 約10%
	添加剤	約15%
化学特性(化学式)	特定できない。	
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	企業秘密なので公開できない。	
CAS No.	企業秘密なので公開できない。	
危険有害成分		
労働安全衛生法 第57条 表示対象物	非該当	
労働安全衛生法 第57条の2 通知対象物	・鉱油 (10~20%)	
化学物質排出把握管理促進法	非該当	
毒劇物取締法	非該当	

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、直ちに医師の診断を受ける。
皮膚(又は髪)に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼で洗う。又、水疱、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗い、直ちに医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断を受ける。 口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗う。

5. 火災時の措置

消火剤	霧状の強化液、泡、粉末または炭酸ガス消火器。
使ってはならない消火剤	棒状の水を用いてはならない。
特有の危険有害性	発生した蒸気によって燃焼や爆発が起きる可能性がある。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用し消火する。 初期の火災の際には粉末や炭酸ガス消火器を用いる。 大規模火災の際には泡消火薬剤を用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行う者の保護	注水は火災を拡大して危険な場合がある。 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。燃焼又は高温により、有毒なガスが生成する可能性があるため呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	除去作業の際には必ず適切な保護具を着用する。漏出した場所の周囲にロープなどを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。
------------------------------	---

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法・機材	河川、下水道等に流入しないように注意する。 漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合にはヘラ、スコップ等で除いたり、土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。大量の場合には、漏洩したグリースを土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収し、河川・下水道等に排出されないように注意する。海上の場合、オイルフェンスを展開し拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。
二次災害の防止策	事故の未然及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。付近の着火源となるものを速やかに取り除き、着火した場合に備えて消火用器具を準備する。こぼれた場所は滑りやすいため注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけるとともに、みだりに蒸気を発散させない。静電気放電に対する予防措置（導電性を有する作業衣や靴などの装着等）を講ずる。
局所排気・全体換気	室内で取扱う場合は十分な換気を実施すること。換気装置を取付ける場合は、防爆タイプを用いる。
注意事項	発生した蒸気は空気より重いので滞留し易いことより、換気および火気などへの注意が必要である。
安全取扱い注意事項	水分・きょう雑物の混入に注意する。ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触を避ける。
保管 技術的対策	保管場所で使用する電気器具は、防爆構造とし、器具類は接地する。
適切な保管条件	直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管する。容器を密閉し、保管場所に施錠する。法で定められた表示をして保管する。ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触および保管を避ける。
安全な容器包装材料	容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂する事がある。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	ミストが発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。
管理濃度	(作業環境基準：厚生労働省告示第195号 平成21年3月31日) 設定されていない
許容濃度	日本産業衛生学会（2010年度版） データ無し ACGIH（2009年度版） データ無し
保護具 呼吸器の保護具	必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。
手の保護具	長時間、または繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用する。
目の保護具	飛沫が飛ぶ場合にはゴーグル型眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。
適切な衛生対策	付着した衣類は脱ぎ、完全に清浄にしてから再使用する。取扱い後はよく手を洗う。作業中は飲食、喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

外観	乳白色の半固体	
臭い	僅かな臭気	
pH	該当しない	(希釈倍率 倍)
融点	現在データなし。	
沸点	現在データなし。	

引火点	234℃	(SETA)
発火点	現在データなし。	
燃焼性	あり	
爆発限界	現在データなし。	
蒸気圧	現在データなし。	
蒸気密度	現在データなし。	
密度	0.92 g/cm ³ (15℃)	
溶解性	不溶	
オクタノール／水分配係数	現在データなし。	
分解温度	現在データなし。	
滴点	206℃	

10. 安定性及び反応性

安定性	安定
危険有害反応可能性	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	混蝕危険物質との接触
混蝕危険物質	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質
危険有害な分解生成物	燃焼により煙、一酸化炭素等が発生する可能性がある。
その他	有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	有用なデータなし。
急性毒性(経皮)	有用なデータなし。
急性毒性(気体)	有用なデータなし。
急性毒性(蒸気)	有用なデータなし。
急性毒性(粉塵及びミスト)	有用なデータなし。
皮膚腐食性／刺激性	有用なデータなし。
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	目に入ると炎症を起こすことがある。
呼吸器感受性	ミストまたは蒸気を吸入すると気分が悪くなることもある。
皮膚感受性	皮膚に触れると炎症を起こすことがある。
生殖細胞変異原性	有用なデータなし。
発がん性	有用なデータなし。
生殖毒性	有用なデータなし。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	有用なデータなし。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	有用なデータなし。
吸引性呼吸器有害性	有用なデータなし。
その他	有用なデータなし。

12. 環境影響情報

生態毒性	有用なデータなし。
残留性／分解性	有用なデータなし。
生態蓄積性	有用なデータなし。
土壌中の移動性	有用なデータなし。

13. 廃棄上の注意

「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従い適正に処理する。産業廃棄物は事業者が自ら処理するか、または知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃容器の取り扱い 空容器に圧力を加えると破裂することがある。空容器は溶接、加熱、穴開けまたは切断を行うと、爆発を伴って残留物が発火することがある。

14. 輸送上の注意

輸送時には「7. 取扱い及び保管上の注意」の項に記載した内容に留意する。

国際規制	
国連分類	非該当

国連番号		非該当
品名(国連輸送品名)		非該当
容器等級		非該当
海洋汚染物質		非該当
国内規制		
陸上	消防法	非危険物
	毒劇物取締法	非該当
	道路法	非危険物
海上	船舶安全法	該当しない。
航空	航空法	非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件		直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積込み、荷崩れの防止を行う。 該当法令に従い輸送を行う。 第1類及び第6類の危険物及び酸化性の強い物質との混載を禁止する。

15. 適用法令

労働安全衛生法(通知対象物質)
 水質汚濁防止法
 海洋汚染防止法(油分排出規制)
 下水道法
 廃棄物の処理および清掃に関する法律(産業廃棄物規制)

16. その他の情報

引用文献

- 1) IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33
- 2) 許容濃度等の勧告(2010年度) 日本産業衛生学会
- 3) Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH(2009)
- 4) GHS対応ガイドライン 製品安全データシートの作成指針(改訂2版)
ラベル表示作成指針 日本化学工業協会
- 5) GHS対応 MSDS・ラベル 実務早分かり 産業環境管理協会

その他

- ・この記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また記載した注意点は通常の取り扱いを対象としたもので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上での取り扱いが必要です。
- ・すべての化学品には未知の有害性がありえます。取り扱いについては細心の注意が必要です。本品の適性な使用については使用者各位の責任において行ってください。
- ・製品安全データシートは情報の提供を目的としたもので、安全の保証書ではありません。
- ・本データシートの内容は新しい知見により予告なく変更することがあります。

NIGLUBE PG-M

PRODUCT DESCRIPTION

NIGLUBE PG-M is a grease for plastic, consisting of synthetic hydrocarbon oil as base stock and lithium soap as thickener in an effective proportion with additives including oxidation inhibitor, melamine resin, and polymer.

NIGLUBE PG-M excels in compatibility with rubber, cold resistance, and lubricity, and is most suitable for lubrication at extremely-low temperatures in where it is difficult to use general mineral-oil-based greases, or lubrication between rubber/plastic and metal. And thanks to addition of polymer, **NIGLUBE PG-M** is very viscous, and has a silencing effect on lubrication part.

FEATURES

1. Excels in compatibility with rubber/resin
Especially has no adverse effect on NBR, CR, and ABS resin, PC resin and PS resin.
2. Applicable in a wide range of temperatures.
-40°C~+130°C
3. Has excellent shear stability.
4. Is excellent in lubricity.

APPLICATIONS

- Lubrication and wear prevention of plastic gears.
- Lubrication between plastic and metal.
- Bearing lubrication at low temperatures.
- Lubrication where rubber/plastic may be deteriorated.

PHYSICAL PROPERTIES

TEST ITEM	TYPICAL VALUE	TEST METHOD
Appearance	Milky white	Visual
Worked Penetration (25°C)	300	JIS K 2220 7
Dropping Point °C	206	JIS K 2220 8
Evaporation Loss (99°C 22h) mass%	0.10	JIS K 2220 10
Oil Separation (100°C 24h) mass%	2.4	JIS K 2220 11

● Please read handling instructions on the container carefully when you use this product.

● Described properties and performances do not necessarily guarantee accuracy and perfection. These are subject to change without notice.

001003/0001MS

CATL-E-406750

MATERIAL SAFETY DATA SHEET

NIGLUBE PG-M

No. G2760

PRODUCT

SECTION CHEMICAL PRODUCT AND COMPANY IDENTIFICATION

PRODUCT NAME : NIGLUBE PG-M
PRODUCT TYPE : Lubricating grease
MANUFACTURER'S NAME : Nippon Grease Co., Ltd.
ADDRESS : 4-11-28, Minami-Senba, Chuo-ku, OSAKA, 542-0081 Japan
TELEPHONE NUMBER : 06-6282-5412
EMERGENCY TELEPHONE NUMBER: 078-731-8147
DATE PREPARED : July 17, 2009

SECTION COMPOSITION/INFOMATION ON INGREDIENTS

MIXTURE: Base oil, Thickener and Additives

INGREDIENTS AND COMPONENTS (% by mass):

Base oil (Synthetic hydrocarbon oil)	approx.	75
Thickener (Lithium soap)	approx.	10
Additives (Anti-oxidant, Tackiness agent, Solid lubricant)	approx.	15

UN CLASS AND UN NUMBER: NA

SECTION HAZARDS IDENTIFICATION

CLASS NAME OF HAZARDOUS CHEMICALS FOR SDS IN JAPAN: Not Applicable

SECTION FIRST-AID MEASURES

EYE CONTACT : Gently rinse the affected eyes with clean water for at least 15 minutes and consult an ophthalmologist.

SKIN : Wash the affected area under running water using a mild soap.

INHALATION : Remove the victim from the contamination immediately to fresh air.
Call a physician if symptom persists.

INGESTION : Do not induce vomiting. Call a physician.

SECTION FIRE-FIGHTING MEASURES

EXTINGUISH MEDIA: Dry chemical, Foam, Carbon Dioxide

FIRE FIGHTING PROCEDURE : Fire-fighters should wear self-contained breathing apparatus with full-face piece operated in positive pressure mode.

SECTION ACCIDENTIAL RELEASE MEASURES

Shut off all sources of ignition. Absorb spill with inert materials (e.g., dry sand or earth), then place in a chemical waste container with covers for disposal, using non-sparking tools.

SECTION HANDLING AND STORAGE

HANDLING: Avoid direct contact with skin or eyes.
Use in the well-ventilated areas.

STORAGE : Should be kept tightly sealed and stored in doors out of direct sunlight.
Keep away from sources of heat, open flames and sparks.
Avoid long storage periods since the product degrades with age.

SECTION EXPOSURE CONTROL / PERSONAL PROTECTION

EXPOSURE:

ENGINEERING MEASURES: Do not use in areas without adequate ventilation.

EYE PROTECTION: Wear protective eyeglasses or chemical safety goggles if oil mist generated.

HAND,SKIN,AND BODY PROTECTION : When prolonged or frequently repeated contact could occur, use protective clothing such as butyl rubber, impervious to this material.

